



## I 第41週の発生動向 (2019/10/7~10/13)

1. 手足口病については、**上十三保健所管内**で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
2. 水痘については、**三戸地方+八戸市保健所管内**で**注意報**が**解除**されました。上十三保健所管内の定点当たり報告数が0.83となり、注意報基準値(1)に近づいています。
3. 伝染性紅斑については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. 流行性角結膜炎については、東地方+青森市保健所管内の定点当たり報告数が5.00と急増し、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型17人でした。

## II 第41週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	2	0.15	1	0.07	7	0.47			7	0.78			17	0.26	15
小児科	RSウイルス感染症	12	1.50	9	1.00	5	0.50	14	2.80	2	0.33			42	1.00	7
	咽頭結膜熱			1	0.11	3	0.30	1	0.20	2	0.33			7	0.17	2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	11	1.22	10	1.00	2	0.40	12	2.00	1	0.25	38	0.90	3
	感染性胃腸炎	26	3.25	13	1.44	1	0.10	17	3.40	2	0.33	6	1.50	65	1.55	-23
	水痘	2	0.25			4	0.40	2	0.40	5	0.83	1	0.25	14	0.33	-4
	手足口病	25	3.13	28	3.11	13	1.30	19	3.80	37	6.17			122	2.90	51
	伝染性紅斑	4	0.50	1	0.11	3	0.30			7	1.17			15	0.36	1
	突発性発しん	3	0.38	4	0.44	5	0.50	1	0.20	3	0.50	3	0.75	19	0.45	0
	ヘルパンギーナ	5	0.63	4	0.44	7	0.70	3	0.60	3	0.50			22	0.52	12
	流行性耳下腺炎					2	0.20	1	0.20	1	0.17			4	0.10	0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	10	5.00			4	2.00					1	1.00	15	1.36	7
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			7	7.00	8	1.33	2
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

## 感染症の窓

水痘(すいとろ)は「みずぼうそう」ともいわれ、水痘帯状疱疹ウイルスの感染によって引き起こされる感染症です。空気感染、飛まつ感染、接触感染により広がり、主症状は発疹、倦怠感、発熱です。発疹は全身性で、紅斑(皮膚の表面が赤くなること)を経て水疱となり、かさぶた化して治癒するとされています。主に小児の病気で、通常は予後良好ですが、成人は重症化するリスクが高いと言われています。

2014年10月1日から、水痘ワクチンの定期接種が始まり、1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までにワクチンを2回接種することになり、2015年以降、報告数は大きく減少しました(図)。2回接種することで軽度の水痘も発症を予防できると考えられています。定期接種については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

### 水痘 (五類定点把握対象疾患)

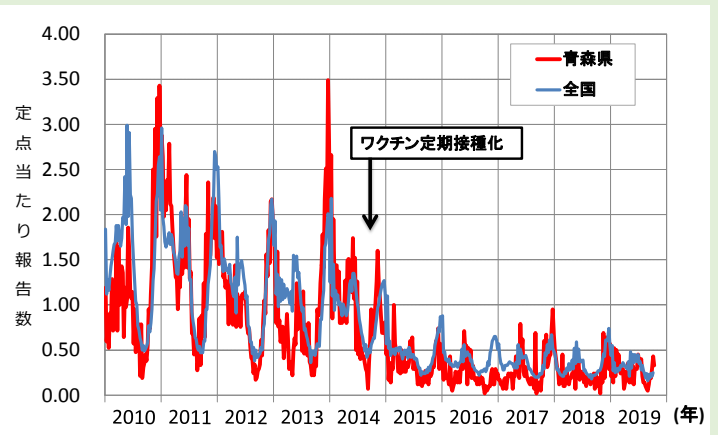


図: 青森県と全国における水痘小児科定点当たり報告数(2010年~2019年第41週)



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：上十三 2 人（2019 年計：21 人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市 2 人、弘前 1 人（2019 年計：36 人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市 1 人（2019 年計：13 人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：むつ 1 人（2019 年計：25 人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：八戸市 2 人、上十三 1 人（2019 年計：40 人）

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019 年第 38 週～第 41 週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	腸管出血性大腸菌 感染症 1 人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人	腸管出血性大腸菌 感染症 1 人	百日咳 2 人		腸管出血性大腸菌 感染症 2 人 百日咳 1 人	
39	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人	レジオネラ症 1 人	腸管出血性大腸菌 感染症 1 人		腸管出血性大腸菌 感染症 1 人 百日咳 1 人	
40	レジオネラ症 1 人 百日咳 1 人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症 1 人 梅毒 1 人	腸管出血性大腸菌 感染症 1 人		腸管出血性大腸菌 感染症 2 人 つつが虫病 1 人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症 1 人 百日咳 1 人	
41	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 2 人 侵襲性肺炎球菌感 染症 1 人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人	百日咳 2 人		腸管出血性大腸菌 感染症 2 人 百日咳 1 人	梅毒 1 人

- ・第 40 週に上十三保健所管内でバンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出がありましたので追加しました。

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2019 年第 38 週～第 41 週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	1					
39	2	1	2			
40	2		2			
41						

- ・第 40 週に八戸市保健所管内で結核 1 人の届出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第40週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	16375	4	75	3018	33	13	394	362	16	13

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウィルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	4	2	1	81	38	86	371	208	3	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	46	13	2	1836	17	674	262	1674	60

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	679	18	145	705	904	34	436	39	2455	366

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	3	5111	111	99	56	13377	2222	719	24	

青森県（2019年第1週～第41週までの累計）

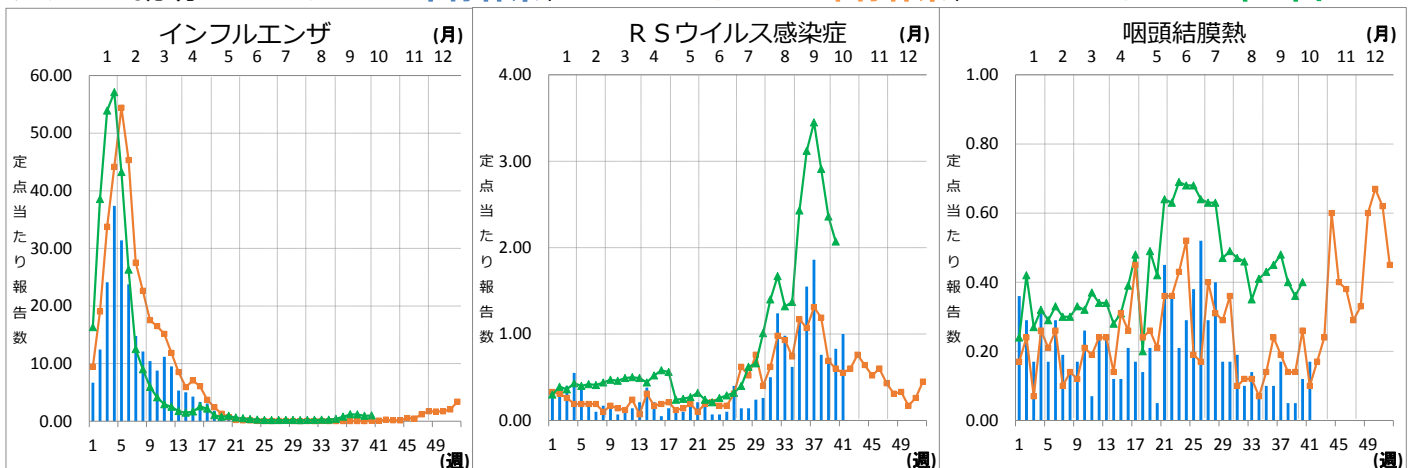
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	コクシジオイデス症	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	174	21	1	1	1	7	10	5	1	36

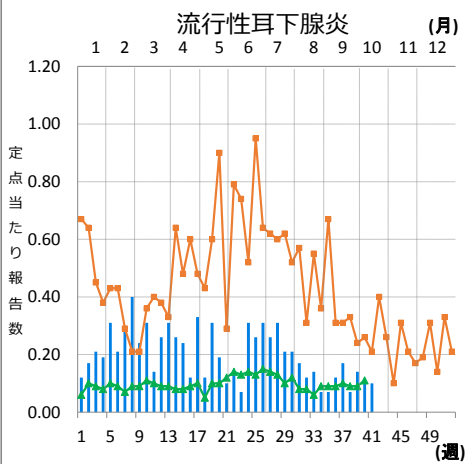
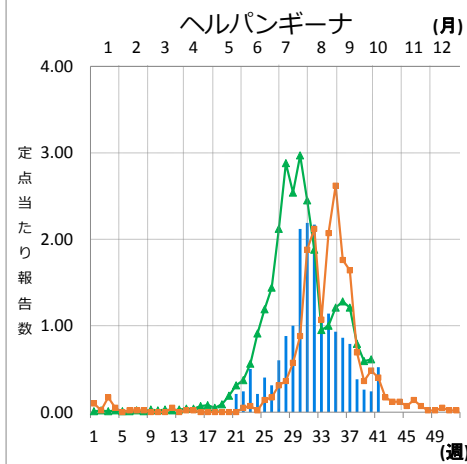
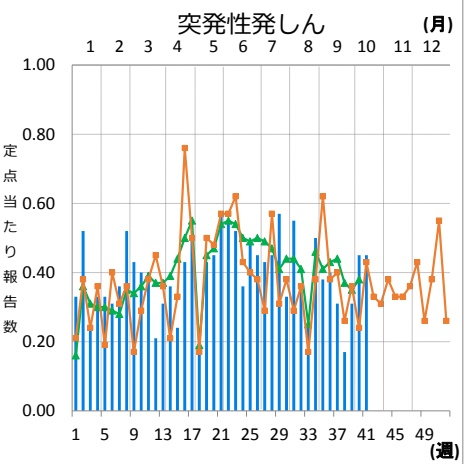
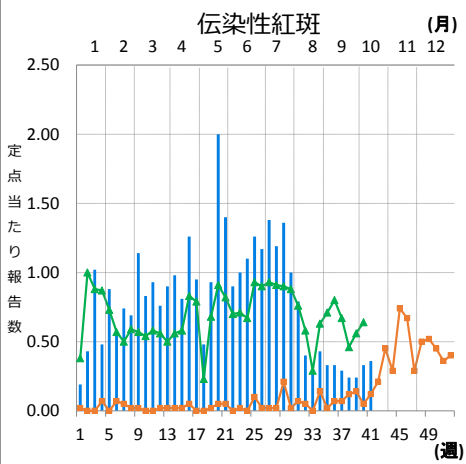
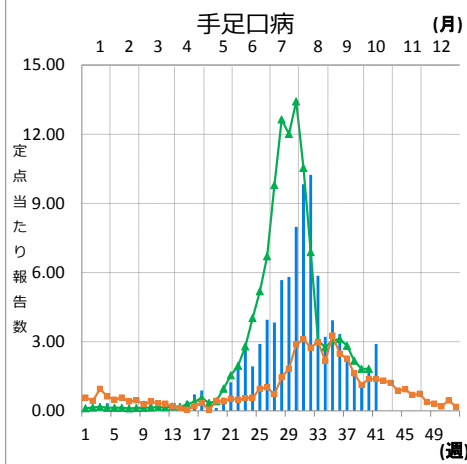
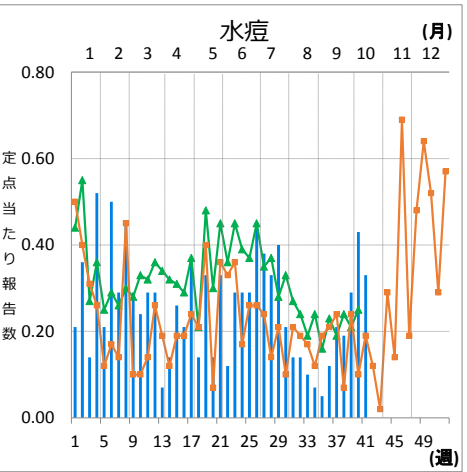
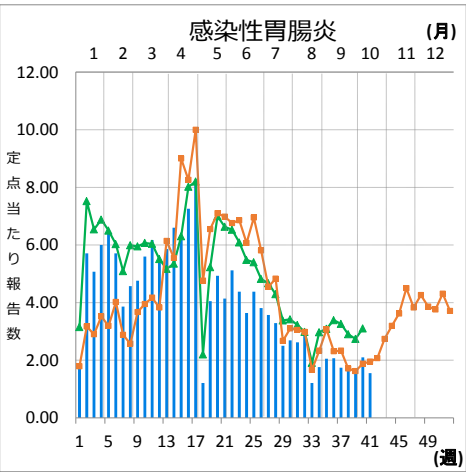
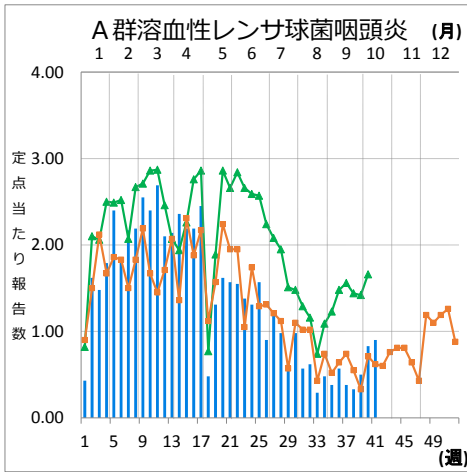
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	2	1	7	2	2	13	1	25	2

分類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	5	40

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第41週、ただし全国は前週）

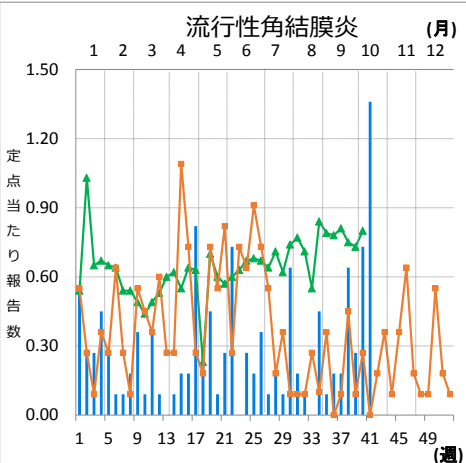
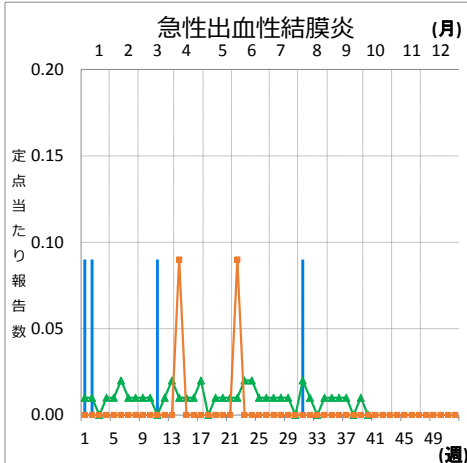
グラフの説明 ← は2019年青森県、 ■ は2018年青森県、 ▲ は2019年全国





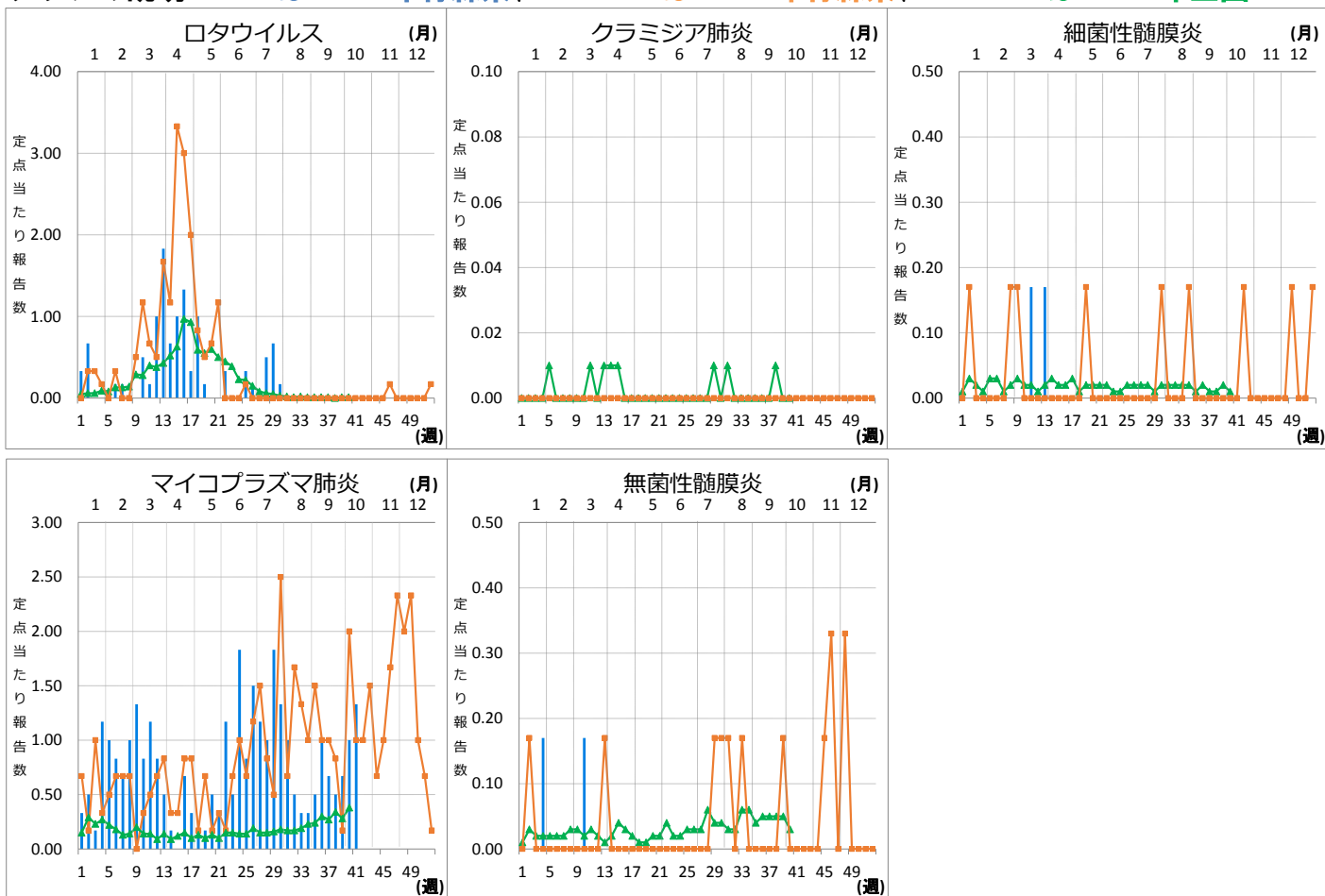
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第41週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第41週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** ← 〓は2019年青森県、■〓は2018年青森県、▲〓は2019年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月2日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第41週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)										計 (施設別)	
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	7月 27-30週	8月 31-34週	9月 35-39週	10月 40週 41週		
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	13	0	0	155
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	1	0	0	0	13
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	8	0	0	0	208
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	1	1	0	0	19
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	8	13	0	0	429